

## 巢鴨界限散策報告(2024年02月13日(火))

何かの機会に、「巢鴨の『とげぬき地蔵』と附近の商店街は『おばあちゃん原宿』とも云われていて面白いですよ」とお話ししたら、柳澤さんが興味を示されて、他の方にも参加を呼び掛けた結果、浮津さんと三ヶ原さんも参加されることになり4名で出掛けることにした。しかし当日朝になって、折角大阪へ行く日を延期までして参加の筈だった浮津さんから熱が出て体調不良のために“ドタキャン”の連絡がきた。それで3名での出発となった。

当日は快晴でしかも暖かくなるという絶好の日和になった。約2時間の歩きなので、巢鴨駅に10時集合にした。ほぼ10時に巢鴨駅を出発する。まず反対方向の『巢鴨大鳥神社』へ向かう。「白山通り」(国道17号)の道脇に「徳川慶喜の屋敷跡地」なる案内表示板、碑を見つけた。更に南方へ進むと、すぐ『大鳥神社』の案内標識が現れた。電柱には旗がひらめいている。10時10分に『大鳥神社』に到着、手前左側に小さな『子育稲荷社』のお社があったのでまずお参りをした後、奥の『大鳥神社』本殿でお参りをした。

元の道を引き返して巢鴨駅を過ぎると直ぐ、『地蔵通り商店街』入口の左手、少し奥に『真性寺』があった。この寺は「中仙道」への出入り口にあたり、大きな銅製の「江戸六地蔵尊」の一像が祀られている。18世紀初頭に建立されて、中仙道を歩く旅人の安全祈願に捧まれてきた。

10時40分、『とげぬき地蔵通り』入口のアーケード門をくぐる、この通りが「旧中仙道」だ。正月なので『とげぬき地蔵』へお参りしようという善男善女が大勢きている。門をくぐると直ぐ右手に『あほやにんにく堂』、『三代目茂蔵豆腐店』が軒を連ね、その先に『元祖塩大福みずの』があった。『みずの』の前には買おうという人が群がっていた。

少し歩くと『高岩寺 とげぬき地蔵』が現れた。山門をくぐると広い境内には飴、団子、土産物売店などが並んでいる。本堂には『延命地蔵菩薩様』(とげぬき地蔵)が祀られているが、秘仏のため拝顔はできない。左手奥に『洗い観音』という、自分の身体の悪い部分に水を掛けて洗い清めると直してもらえろという観音様がおられて、人々が行列を作っていた。

『高岩寺』を過ぎるとめっきり人が減ってきた。今度は『まるじ』という4店舗を構える異色の衣料品店があり、その内の2店舗では“赤パンツ”や男性用・女性用の“赤い下着”を売っている。“赤パンツ”はお笑い芸人が穿いて有名になったらしい。“赤色”を着ると幸福と健康にも良いとか。

更に進み、11時10分、「庚申堂」信号の角地の『巢鴨猿田彦庚申堂』に着いた。狭い境内だが、お堂の両脇には「庚申」の名前の通りお猿さん(“神猿”で台座には見ざる、聞かざる、言はざるの三猿が彫られている)が控えていた。ここから少し戻って、左に折れ、「白山通り」に出る。信号で通りを横断して、細い道へもぐりこみ、11時30分に『本妙寺』に到着した。ここの墓地には明暦大火災(振袖火事)供養塔、本因坊家歴代の墓、天野宗歩(将棋棋聖)、遠山の金さん、千葉周作などの墓がある。

「白山通り」を巢鴨駅前まで戻り、12時に「サイゼリア 巢鴨」に腰を下ろして、休憩・昼食を摂った。食後、ピスターリのこれからの山行・街歩きの計画を説明して、積極的な参加をお願いした。14時に店を出て、巢鴨からの山の手線内で流れ解散した。

以上 陽田



『高岩寺：とげぬき地蔵尊』



『真性寺：六地蔵』



『とげぬき地蔵通り』



『まるじ：“赤パンツ”』



『洗い観音』で水を掛けるお二人